
あなたの背中

桜咲 優莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなたの背中

【Nコード】

N8745E

【作者名】

桜咲 優莉

【あらすじ】

ある少女は好きな人に告白をした。その少女が告白の返事を聞くまでの物語

本田に告白してから少し経ったある日

私、日野蚩はひとりで帰っていた

本田が隣に居ないのが

当たり前のようになっていた

心にぽっかりと穴が開いたみたいに
何も感じなくて・・・

何も考えず歩いていると
曲がり角から本田が出てきた

本田は1年と笑いながら歩いていった

本田が笑っている

たったそれだけなのに
すごくうれしくて
すごく懐かしくて

気がつくと泣いていた

涙をぬぐい、再び歩いた

本田と私の距離は
短いようで長くて
長いようで短くて

悲しくなってきた

本田の背中を見たのを久しぶりだなあ

でもあの頃はこんなにも差がなかったっけ

次の日

私は久しぶりに
本田と初めて会った道から帰った

すごくすごく懐かしかった

まだあの日のことは鮮明に覚えている・・・

この道には思い出がありすぎて

胸がとても苦しくなった・・・

告白した時から

この道は通っていない

ああつらい・・・

つらいよお・・・

もう涙が止まらない

ずっとずっと

ためてきたものが

一気にあふれ出たように

後から後から涙が出た

本田に会いたいよお・・・

好きだよ。本田

もう今度からは
自分に正直になるう

私はずっとずっと
本田を好きでいる

これからも
ずっと先の未来も

私はまた歩き出した

前を見ると本田が居た

なんで？

何でそこに居るの？

最初は夢かと思った

でも居る

確かに本田は私の目の前に居た

「・・・本田・・・」

声にならない声で本田の名前を呼んだ

すると

本田は私のほうを振り返って

笑った

本田、本田・・・

「今日は告白の返事を言いに来た」

本田の顔が真剣になった

「ごめん、好きな人が居る。

だから日野の気持ちに答えられない」

本田の答えは『NO』だった

でも意外とスッキリした

「ねえ本田。私あきらめ悪いから

本田の事想っててもいい？」

「ああ……」

私は本田に振られた

でも私はあきらめない

振り向かないと思っ
ていても
本田のことを想い
続ける

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8745e/>

あなたの背中

2010年10月10日00時00分発行